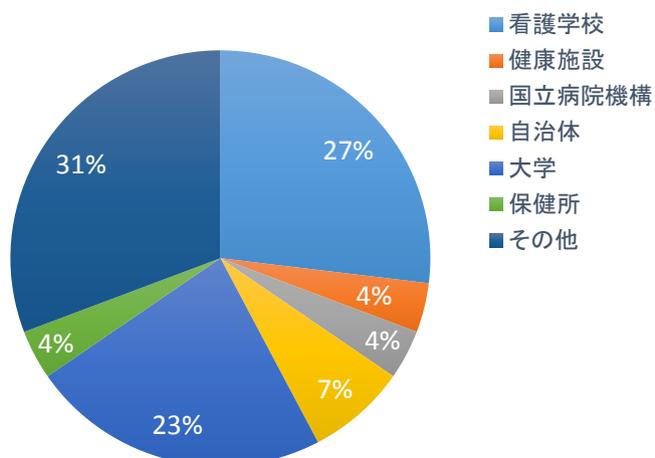


『在宅の高齢者を支えるー医療・介護・看取りー』アンケート

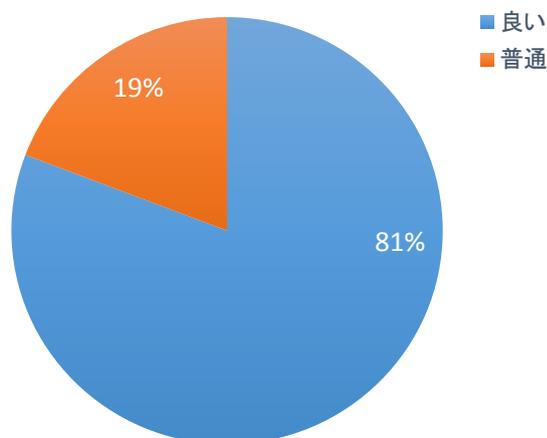
所属

所属	人数
看護学校	7
健康施設	1
国立病院機構	1
自治体	2
大学	6
保健所	1
その他	8
総計	26



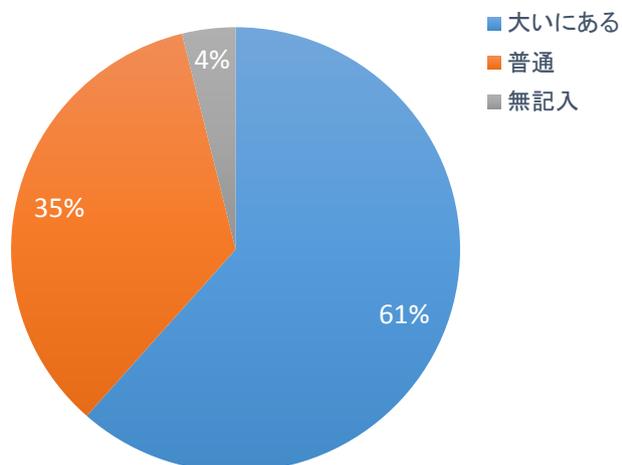
Q:取り上げた課題は満足でしたか？

満足度	人数
良い	21
普通	5
総計	26



Q:お仕事に役立ちましたか

利用価値	人数
大いにある	16
普通	9
無記入	1
総計	26



Q:どのように活用しましたか？

地域連携
施設、在宅スタッフ間でまわし読みさせていただいている。
受け入れをして閲覧を可能にします。
図書館に配架し、教員、学生の研究ならびに学習の利用に供したい。
学生、教員の研究の一助。
高齢独居が多い地方なので在宅看取りなど、情報を探す方法が分かりました。

Q:今後どのようにご利用なされますか？

未定(多職種連携)
もっと多くのスタッフで知見を共有したい。
在宅看護論の講義資料として活用します。
各テーマを院内で共有できるように学習会で活用する。
講義の資料として活用していきたい。
回覧後、図書室に配置。
研究面の参考書および臨床での患者指導に利用します。
地域包括ケアの具体化に少しでも役立てたい。
図書館スタッフが関与可能な認知症予防などについて。
病院職員の研修などへの活用。
在宅看取りの実際に生かしたい。
在宅看護論、その他看護職員の参考資料として活用させていただきます。
図書館の所蔵として医学生、医療関係者の利用に供する。
授業において参考にします。
図書室に配架。
市民教育に使います。
考えているところです。”今後の日本の現状”を知るときに役立てようと思ったりしています。
在宅看護の講義に活用。
本県の在宅医療体制整備を推進するための取組の参考としたい。
がん相談を実施していますが、独りでがんと闘う方々のために少しでも家に居れる工夫をしたいと思っております。
地域の実状に応じた活動、行政との協議の際の知識として活用したい。
実施する研修の資料にしたい。
2025年に向けて日本の地域包括を考えていくために役立てたい。
施設の図書室で保管。

Q:その他ご意見・ご要望・取り上げて欲しいテーマなどお聞かせください

高齢者の社会参加について、どのように社会貢献していけばよいのか。
転倒予防
高齢者の慢性疼痛、高齢者の運動療法とその治療機器開発の現状。
看取りを経験した一般の人の経験談を載せて欲しい。
図や表がクリアでなく、数値や文字が見にくかった。
地域包括ケアシステムの構築について。
うつ、抑うつの方々が社会で生活する工夫はないものかと。
施設における感染症対策、高齢者の感染症対策、三重県立看護大学 准教授 脇坂先生の執筆をお願いします。
急性期医療から在宅医療の転換について、具体的に知りたいです。
高齢者のスキンケア、高齢者のコミュニケーション。
在宅医療、認知症、看取りなど幅広いテーマを取り上げてある。(共感する点が多い)
森のみで木が見えないように思います。
地域連携の大切さと難しさを痛感していますが、情報を得ることで工夫につながることができます。
2025年に向けた国の政策は医療、介護、福祉関係者にはかなり理解が進んできましたが、住民には浸透していないという感じが強い。各団体ともに早急に市民教育をして市民と一緒に高齢化問題に取り組んでいかなければならないと思います。